

高齢者と障害者の自立のための

第42回国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2015

会 期：2015（平成27）年10月7日（水）～9日（金）

会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）

出展社数：522社・団体（日本461社・団体、海外61社）※見込み

開場時間：午前10時～午後5時 入 場 料：無料（登録制：当日または事前）

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

【開催内容】（予定）

第42回目を迎える国際福祉機器展 H.C.R.2015 では、高齢者や障害者の自立と社会参加の促進、家庭や福祉施設での介護の質の向上を目的に、杖・車いす・福祉車両、入浴・トイレ、住宅改造機材などの福祉機器、高齢者むけ食品や衣類など日常生活を支えるさまざまな生活用品を総合展示します。

また、福祉・介護・リハビリなどに役立つ最新情報を以下のようなシンポジウムやセミナー、特別企画などの多彩なイベントをつうじて、福祉関係者、企業関係者、そして一般の方々に提供いたします。

①福祉機器約20,000点を総合展示 **WEBにて来場者登録の受付を開始しました！**

②国際シンポジウムを開催（10月8日） **WEBにて参加申込の受付を開始しました！**

③H.C.R.セミナーを開催（10月7～9日） **WEBにて参加申込の受付を開始しました！**

福祉職から一般、福祉利用者、家族までをそれぞれ対象として、保健・福祉・介護をテーマに連日開催。

④出展社によるプレゼンテーション

⑤H.C.R.特別企画

(1) 障害児のための「子ども広場」：

子ども用機器の展示、機器・療育・住宅改造などの相談、保育士が常駐するひとやすみコーナーなど。

(2) ふくしの相談コーナー

福祉機器や自助具などの相談コーナーを設置。

(3) 高齢者・障害者の生活支援用品コーナー

『いつまでも元気に働く「10のコツ！」展』を開催。関連グッズを展示・紹介。

(4) 福祉機器開発最前線

現在開発中の製品や新発表の福祉機器、介護ロボットなどのデモンストレーション・集中展示。

(5) アルテック講座 2015～身の回りにおけるテクノロジー（アルテック）で創る豊かで楽しい生活

携帯電話やスマートフォンなど身の回りにおけるテクノロジーの福祉的な利用方法についての解説・実演。

(6) 被災地応援コーナー

東日本大震災で被災した東北地方のセルブ（障害者授産施設）製品を販売。

その他にも、多彩なプログラムを実施予定。

I 国際シンポジウム

テーマ「介護サービス従事者をいかに確保するか？」

～ドイツ、米国、日本の比較から今後の課題とその対策を考える【プログラムNo.1】**手話通訳あり**

わが国の介護サービス従事者数は2013年現在で171万人とされていますが、団塊の世代が後期高齢期に入る2025年までに、さらに約80万人を確保しなければならないといわれています。

現在、介護サービス分野への人材の参入を促進するため、他産業より低いとされる処遇の改善と介護人材の計画的な養成・確保などの方策の拡充が喫緊の課題とされ、官民あげて取り組みがすすめられていますが、社会経済状況も反映して、効果が出ているとは言い難い状況が続いており、都市部においては介護サービス従事者の不足が恒常化しています。

また、経済連携協定（EPA）に基づき、経済活動の連携の強化の観点から、平成20年度から一部のアジア諸国から介護福祉士候補者の受入れが行われていますが、施行から一定の期間を経ており、今後のあり方について様々な意見が出されています。

H.C.R.2015 国際シンポジウムでは、介護従事者など介護の専門職の役割機能、介護従事者の充足状況や処遇の現状と課題、介護従事者の確保策などについて、わが国が介護保険制度導入の参考としたドイツ、及び、移民労働者が多い米国の実情を理解し、今後のわが国の介護サービス従事者の確保策や介護サービスの充実方策について考える場とします。【日英同時通訳付】

○開催日時：平成27年10月8日（木）13：00～16：40

○会場：東京ビッグサイト会議棟6F

○参加者：高齢社会の課題や政策・制度に関心のある方であれば、どなたでも参加いただけます。

○シンポジスト：

i) ドイツ／グリット・ブレセケ（Dr. Grit Braeseke）氏：

ヨーロッパ・ヘルスケア・リサーチ&社会経済研究所 サイエンス分野担当部長

ii) アメリカ／ロビン・ストーン（Dr. Robyn Stone）氏：

米国リーディング・エイジ・センター事務局長、元ホワイトハウス副次官補佐（障害者・高齢者・介護政策担当）、元米国保健福祉省次官補代行

iii) 日本（施設現場の立場から）／湯川 智美 氏：社会福祉法人 六親会常務理事、本会監事

iv) 日本（研究者の立場から）／塚田 典子 氏：日本大学商学部教授、本会理事

○チューター：近藤 純五郎 氏

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会理事長、弁護士、元厚生労働事務次官

○参加費：1,000円

○参加申込方法：H.C.R.Web サイト (<http://www.hcr.or.jp>) からの事前申込となります。

○定員（250名）になり次第締め切らせていただきます。

【講演要旨】

第一部

講演 「ドイツ、アメリカ、日本における介護サービス従事者確保の取り組みと現状」

はじめに

（塚田典子 氏）

- (1) 本シンポジウム企画の意図
- (2) 海外視察を含めた企画準備の経過説明
- (3) 登壇者（シンポジスト）の紹介

1. 介護従事者の確保の試み。ドイツからの報告 (グリット・ブレセケ 氏)

- (1) 人口統計と介護サービス提供の状況
- (2) 労働移民分野での実際の取り組み
- (3) ベトナムでのパイロット・プロジェクト
 - プログラム構成
 - プロジェクト実施
 - プロジェクトの財源
 - 教訓と見通し

2. アメリカにおける長期介護(Long-Term Care)―財源、給付、労働力 (ロビン・ストーン 氏)

- (1) 現状
- (2) 介護のための財源 (LTC 資金)
- (3) LTC 提供システムへの取り組み
- (4) 誰が LTC を提供するのか
- (5) 移民労働者の役割
- (6) 安定的で有能な労働者育成への挑戦
- (7) 公的政策における対策案

3. 介護サービス従事者をいかに確保するか～日本の施設の現場から～ (湯川 智美 氏)

はじめに―人口減少と少子高齢化の急速な進展、生産年齢人口の減少

- (1) わが国の主な福祉系資格と福祉系進学者の減少傾向の実態
- (2) わが国における外国人専門職員の受け入れ
- (3) 国における福祉介護人材確保対策について
- (4) 福祉人材の確保と定着における課題

終わりに～3本のレポートの総括 (塚田 典子 氏)

- (1) 介護人材確保の課題は3か国に共通した課題
- (2) 介護人材確保への取り組みは各国とも開始
- (3) 異なる外国人介護労働者の受け入れ方法
- (4) 終わりに：今後の展望～介護人材を確保するために

第二部 質疑応答

※ 講義要旨の詳細版を、HCR Web サイト (<http://www.hcr.or.jp>) に掲載しています。

II H.C.R.セミナー

H.C.R.2015 では、わが国の保健福祉・介護・医療分野におけるさまざまな課題についての関連最新情報の提供や、福祉・介護職の資質向上をはかるための「H.C.R.セミナー」を東京ビッグサイト・会議棟及び東展示ホール内で開催します。

今年は、地域で生活されている高齢者の住まいや介護に関わる情報や、介護・福祉施設のサービスの質を高めるための知識や技術などを学んでいただく講座のほか、企業関係者を対象としたセミナーも新設しました。ぜひ、ご参加ください。

○開催日：2015年10月7日(水)～9日(金)

○会場：①以下の【プログラムNo2】～【プログラムNo7】は、東京ビッグサイト・会議棟6階「605-608会議室」
(※本会WEBから事前申込が必要です。また、セミナー共通資料(1部1,000円)を販売します。)

②以下の【プログラムNo8】は、東京ビッグサイト・東6ホール内「特設会場C」(自由参加、先着順)

③以下の【プログラムNo9】は、東京ビッグサイト・東3ホール内「特設会場A」(自由参加、先着順)

東京ビッグサイト・会議棟で開催するセミナー

10月7日(水)

11:00~12:30

【プログラム№2】福祉施設における感染症の知識と対応 ～ 知っておきたい感染症対策のポイント **要共通資料**

近年、さまざまな感染症対策が問われています。福祉施設では、利用者が集団で生活する場であり、感染症に対するきめ細かな配慮は欠かすことができません。高齢者や障害者、児童においては、感染すると症状が非常に重くなることもめずらしくありません。福祉施設職員は感染症に対する正しい知識をもち、その予防に努めるとともに、発症時における適切な対応が求められます。

本講座では、高齢者、障害者、児童福祉施設における日常の感染症に関する知識と予防、発症後の対応策、施設などの現場で留意しておきたいポイントや今年の動向について感染症専門の講師に学びます。福祉・介護職の皆様には、必見の講座です。

○主な参加対象者：介護・福祉施設関係者のほか、テーマに関心のある一般の方々

○講師：小坂 健 氏 東北大学大学院 歯学研究科 副研究科長

14:00~16:30

【プログラム№3】福祉施設の実践事例発表 ～ 役立つ活かせる工夫とアイデア **要共通資料**

介護・障害者・児童福祉施設の現場では、スタッフが日々の利用者への援助・支援においてさまざまな創意・工夫を行うことによって、福祉サービスの改善、質的な向上がはかられています。こうした創意・工夫は、全国の福祉施設で活かせるアイデアとノウハウです。

本講座では、創意・工夫の情報を共有することで、福祉サービスの質の向上をはかることを目的として、福祉施設での実践事例、研究発表を紹介します。

○主な参加対象者：介護・福祉施設関係者など

《A 会場／ケアに関する工夫事例》

発表事例（予定）：

- ①口腔ケアの取り組み
- ②実践的転倒予防トレーニング
- ③命の最後を安心して迎える為の支援～大好きな家族と住み慣れた家で～
- ④コミュニケーションと食支援の実践～言語聴覚士15年の取り組み～
- ⑤QOL向上への取り組み ～一人暮らしのいきいきライフ～

司会進行：眞下 宗司 氏 社会福祉法人 誠光会 身体障害者療護施設誠光荘施設長

《B 会場／マネジメントに関する工夫事例》

発表事例（予定）：

- ①エーデル土山のBCP計画&施設管理室の取組
- ②社会福祉懇談会における日本経営品質賞勉強会の取り組み
- ③利用者の尊厳と権利が守られる暮らしの実現を目指して～全社的取り組みから～
- ④介護職員の腰痛管理で入居者により安全で安心した介護サービスが提供できる
- ⑤中間的就労（ユニバーサル就労）の実践

司会進行：久木元 司 氏 社会福祉法人 常盤会 理事長

※AとBの2つの会場に分割して並行開催します（プログラム中に会場移動できます）。

※当日受付を会場前において同日（10月7日）の13:00より先着順にて行います。

10月8日(木)

10:30~12:00

【プログラムNo4】高齢者むけの住まいの種類と選び方～

有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など **手話通訳あり** **要共通資料**

特別養護老人ホームでは多くの待機者をかかえ、とくに都市部では入居がとても困難になっています。そのため有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅など、高齢者を対象とする入居施設や住宅の種類が増え、さまざまな形態がみられるようになりました。

本講座では、このように複雑で多様な高齢者向けの施設や住宅の種類や特徴、現状をわかりやすく解説するとともに、費用や介護サービスの有無、利用方法などの解説をつうじて、ご自身の状況と照らし合わせて、どのような住まいが最も適しているのか、その選び方のポイントを紹介します。

○主な参加対象者：高齢者およびその家族

○講師：小瀬 有明子 氏 NPO 法人 シニアライフ情報センター 理事

10月9日(金)

11:00~12:30

【プログラムNo5】一般家庭における介護で腰痛にならないための基本技術

～ボディメカニクスの理解と活用 **手話通訳あり** **要共通資料**

腰痛は介護する方々にとって大きな課題です。リフトなど機器の使用、住環境の改善、介護者の体力改善、適正な介護の仕方(技術)の習得など腰痛にならないための工夫はいくつかあります。家庭介護をする一般の方々は、これらについての基礎を理解し、そうした要素を組み合わせることで腰痛予防をおこなっていく必要があります。

ボディメカニクスは介護時の適正な姿勢や動作を確保し、介護する側・される側双方にとって楽に安定させる技術です。実演をもって、わかりやすく説明します。

○主な参加対象者：在宅で介護を行っている方、新任介護職員・ホームヘルパーなど

○講師：青柳 佳子 氏 浦和大学短期大学部 介護福祉科 特任教授

13:30~15:00

【プログラムNo6】障害者に対する差別の禁止と合理的配慮

～障害者雇用促進法の改正および障害者差別解消法の制定を受けて **手話通訳あり** **要共通資料**

国連の「障害者の権利に関する条約」の締結に向けた国内法制度の整備の一環として、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的に、「障害者差別解消法」の制定と、「障害者雇用促進法」の改正が行われ、それぞれ平成28年4月より施行されることとなります。

これにより、障害者の雇用や、障害者に向けたサービスの提供などの企業活動のさまざまな場面において障害者の自立や社会参加を妨げている「社会的障壁」を除去するための「合理的配慮」の提供に取り組んでいくことが求められます。

こうした状況を受けて、法施行後、企業は具体的にどのような対応を行っていくべきか、新たな法制度や合理的配慮の考え方を学ぶとともに、具体的な取り組み事例を紹介するなど企業に求められる役割を確認します。

○主な参加対象者：企業、行政、福祉関連団体の関係者などのほか、テーマに関心のある一般の方々

○講師：長谷川 珠子 氏 福島大学 行政政策学類・法学専攻 准教授

13:30～15:30

【プログラムNo.7】ユニバーサルでエコなまちの創生

～2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて **要共通資料**

※本講座の会場は、東京ビッグサイト・会議棟7階「701-702 会議室」になります

I 基調講演

ユニバーサルでエコなまちの創生

～2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて

○講師：炭谷 茂 氏 社会福祉施設等の環境の取り組みに関する研究会委員長、
社会福祉法人 恩賜財団済生会理事長

II 事例報告

報告①：社会福祉法人 太陽の家理事長 中村 太郎 氏

太陽の家の理念と実践。日本で初めて身体障害者体育大会を開催した父から学んだユニバーサルデザインとは。

報告②：アルハイテック（株）常務取締役 水木 伸明 氏

アルミごみから生成した水素エネルギーを地域社会のユニバーサル・エコ・デザインに。各地の福祉施設とも協働する北陸発の新エネルギーシステム。

○主な参加対象者：介護・福祉施設関係者のほか、テーマに関心のある一般の方

東京ビッグサイト・東展示ホールで開催するセミナー

特設会場 A（東3ホール内）

【プログラムNo.8】はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー **手話通訳あり**

「基本動作編」「住宅改修編」「自立支援編」の3編をさらに以下の10のテーマに分類し、3日間にわたりセミナーを開催します。

3日間のセミナーの概要は以下のとおりです（時間割、講師名などの詳細は、本会WEBよりご確認ください）。

《10月7日（水）・住宅改修編》

①トイレ・排泄用品 ②住宅改修 ③入浴機器

《10月8日（木）・基本動作編》

④ベッド ⑤リフト等移乗用品 ⑥杖・歩行器等補助用品 ⑦車いす

《10月9日（金）・自立支援編》

⑧コミュニケーション機器 ⑨福祉車両 ⑩自助具

○主な参加対象者：高齢者、障害者及びその家族、新任介護職員、福祉機器企業関係者、学生など

○定員：200名（※自由参加、先着順にご案内いたします。）

※副読本として、「基本動作編」「住宅改修編」「自立支援編」の3種類を本セミナー会場にて販売しています。
1冊100円です。

【プログラム№9】 高齢者むけの手軽な日々の食事

～惣菜やレトルト食品をおいしくバランスアップ [高齢者の料理講座] 手話通訳あり

高齢者の一人暮らしや、高齢者夫婦世帯が増えています。こうした世帯では、長寿化が進むにつれて、毎日の食生活のために料理をつくることも、栄養バランスを考えて手間をかけることも、大変なことであります。

そのため、日々の食事を市販のお弁当などで済ませる方も多くなっています。そこで、コンビニの弁当やスーパーの惣菜・レトルト食品などをもとにして、ひと工夫を加えることによって、毎日の食事を、簡単に、豊かに、かつ、栄養のバランスがとれる食事のつくり方と実演にてご紹介します。

テキストでは、レシピと食事づくりのポイントをわかりやすく説明、載せています。

- 主な参加対象者：高齢者及びその家族、ホームヘルパー、在宅サービス事業者など
- 講師：虎の門病院栄養部
- 開催時間：会期中の毎日 13：00～14：00 の時間帯
- 定員：100 名（※自由参加、先着順にご案内いたします。）

H.C.R.2015 新製品の紹介／福祉機器ガイドブックより

㈱アクセスインターナショナル X 'Cape【移動機器】 価格：お問い合わせください

～固定型のパフォーマンスを実現した折りたたみ式小児用車いす～

「Zippe X'Cape」は、折りたたみの利便性と固定車なみのリジット性を実現させた『XLOCK テクノロジー』が搭載されている初めての車いすです。育ちざかりでアクティブなお子さまのためにデザインされ、最小重量は 8.6kg。シート奥行き、シート幅、フットレスト長は成長に合わせ拡張が可能です。

㈱アルパジャパン TWION・電動アシストユニット アクティブ【移動用品】 価格：お問い合わせください

～あなたの車いすが電動になります。介護保険レンタル対象品～

ENERGINE YOUR WHEELCHAIR

シンプルなデザインのパワーアシストにて、よりアクティブに活動できるようになります。そして、軽量でパワフルになりました。Bluetooth 経由にてスマートフォンで走行情報の管理や、車いすの遠隔操作ができるようになりました。

ウチエ㈱ たため～る (肘固定袋タイプ)【トイレ・おむつ用品】 価格：52,704 円

～収納に便利な折りたたみポータブルトイレ～

- ・使用しない時はバケツを外し、外袋ごと折りたたむことができます。自立し、大変コンパクトになり場所をとりません。約 1 台分のスペースで 2 台置けます！
- ・立ち上がる時など、肘掛けを安定してしっかりと掴めます。
- ・水を使用して、丸洗いができますので楽にお掃除でき、清潔にご使用いただけます。

酒井医療㈱ トータルエイドバス シルフィード【入浴用品】 価格：お問い合わせください

～入浴介助各シーンの負担を大幅に軽減する新型仰臥位浴槽～

小柄な方でも介助しやすい縁高 93cm で、どこから介助しても縁の高さが一緒です。また、ストレッチャーを大幅にスリム化し、より浴槽に近づきやすくなりました。

さらにはチルト機構により、姿勢を直す介助も削減できます。

入浴介助の各シーンの介助負担を軽減する、トータルケアエイドバスシステムです。

シーホネンス㈱ DUO WAVE【ベッド用品】 価格：お問い合わせください

～多彩な機能を搭載したファイバーマットレス～

『DUO WAVE』(デュオウェーブ) は、ポリエステル繊維を「ダブルウェーブ構造」で縦方向にし、身体をしっかり支えるマットレスです。

体全体をバランス良く支え、沈み込みを軽減し、快眠に必要な自然な寝返りを助け、介助の負担を軽減します。
ファイバーマットレスなので通気性も抜群です。

シンテックス㈱ タスカル OSTⅡ (屋外/直線型)【移動機器】 価格：お問い合わせください
～玄関から屋外への直線階段に!!～

玄関から屋外へのアプローチにある直線階段にお困りの場合には、防雨加工を施した屋外仕様のタスカル OSTⅡがぴったりです。上階での乗り降りがしやすい「いす回転機能」、使わない時に邪魔にならない「折りたたみ機能」も装備、タスカル OSTⅡで外出がさらに楽しくなります。

㈱テクノスジャパン ケアロボコール 2A [HKC-2A]【見守り機器】 価格：244,080 円
～ベッドからの離床を画像付メールで報知!～

- コードレス・マットスイッチで検知!
- 徘徊を画像付メールで報知します。通信料は低価格です。
- 外部通信機能(通信ユニット)は取付け・取外しが可能です。
- 居宅内、建物内では固定受信器(メロディチャイム 10)で報知できます。

パナソニック㈱ 電動ケアベッド コンフォーネ【ベッド用品】 価格：オープン価格
～「快適性」と「負担軽減」を両立するベッド～

- 『からだにぴったり』
利用者のひざの位置をしっかりと合わせられるので、背中を起こす時に身体が下へずれるのを防止。
- 『音声・カラー表示スイッチ』
使いやすく見えやすい様にボタンの文字だけでなく音や色でも確認。
- ベッドでの姿勢保持、離床するための移動性も配慮した利用者・介護者どちらの事も考えた様々な機能を備えています。

パラマウントベッド㈱ ミニリフト 125 低床タイプ【移動機器】 価格：500,000 円 [非課税]
～座位からの立ち上がり補助する小型リフト～

座位からの立ち上りを補助します。主にトイレでの立ち上がり、立位保持をサポートするほか、ベッドから車いす、車いすから椅子への移動動作や車いす上での座りなおしをサポートします。ポータブルトイレをご使用の方にもお使いいただけます。

マツ六㈱ たよレール high I 型/R 型【建築・住宅設備】 価格：お問い合わせください
～工事不要で横手すりがつながる突っ張り式縦手すり～

床と天井で突っ張って設置する手すりです。縦手すりのみで狭い場所でも設置できます。天井高さ 2,100～2,800mm まで対応可能。手すりはダブルディンプル付で握りやすいφ35。別売のわたレールと連結することで、移動補助手すりの設置が可能です。

*上記の製品は、H.C.R.2015 福祉機器ガイドブックにお申込みいただいた新製品のなかから、掲載内容が確定したものを順次社名アイウエオ順で紹介したものです。特段の選考によるものではありません。

※注1：内容や日程は予告なく変更する可能性がありますので、ご来場の際は最新情報をご確認ください。

※注2：各プログラムへの最新のご参加内容については、H.C.R. Web サイト(www.hcr.or.jp)で順次ご案内します。

H.C.R. 2015 事務局
(一財)保健福祉広報協会
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798
<http://www.hcr.or.jp>